



花見川区ニュース
2011年 臨時 号
民主党内民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町 1-11-1
電話03-3595-9988 (代)
puress@dpj.or.jp
<http://www.dpj.or.jp>

国民の「生活が第一」

大川ただお 県議会 臨時報告号

東日本大震災により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この未曾有の大災害は、さらに想定外のことを起こし地震の直接的な影響のみならず、福島第一原発の事故が重なり、原発事故にともなう計画停電による混乱、農作物や水産物への影響、さらには観光をはじめとする経済活動の停滞など、本県にきわめて深刻な状況をもたらしており早急な対応が求められています。

私は、4月10日に実施された選挙により選出された新人議員として、被災された方々が一刻も早く以前の生活を取り戻せますよう、災害復興支援や復興に向け全力で取り組んでまいります。今後は、日々変化する被災地のニーズや課題に機動的に対応することが大切と考えます。

この深い悲しみを心に刻み、助け合いながら希望を持って歩いていくことにより、復興への道は必ず拓かれていくことと確信します。

県内被害状況 死者19名、行方不明2名、負傷者224名
(重症19名) 火災13件、石油コンビナート火災1件

建物被害 全壊 691棟、半壊 2,242棟、
破損 19,037棟

液状化被害 約12,000世帯

液状化による被害が多いが、国の現行の被災者再建支援法では、救済対象外です。県民の不安を取り除き、将来に明かりを示す必要があります。

津波対策など防災計画の見直し、どのような設備・施設を設ければどんな効果があるのか、シュミレーションする必要があります。飯岡地区の津波は今回5メートルを超えていたとみられ、過去のデータを含め幅広く検証が必要です。ハード面だけでなく、避難誘導、呼び掛けなど、ソフト面も検討するべきです。

さらに風評被害が問題です。野菜、海産物など検査し結果を公表し、信用安心を消費者に提示するべきです。

今般の、震災の教訓をまちづくりにいかすため、私は現場をよく知る地域の皆さんの提案を真摯に受け止め、その上で財政健全化、少子高齢化など山積した県政の課題に取り組む所存です。今、まさに時代は転換点。将来予測し、課題認識を皆さんと共有し、先頭に立って県民の明日をつくるという情熱を持ちがんばって参ります。



臨時県議会が5月18日より開会

さて、今回5月補正予算として、過去に例をみない被害状況を踏まえ、被災者の生活再建、インフラの復旧、産業の再生、原子力発電所事故への対応など、最優先に取り組むべき事業を計上し、23年度予算の補正が審議されます。

当初 23年度一般会計予算
1兆5,594億7,138万円(前年1.7%増)

(追加)補正予算規模 528億7,000万円
(東日本大震災への対応435億6,700万円・災害復興・地域再生基金への積立93億300万円)

補正後 予算額 1兆6,138億4,100万円

がんばろう千葉

今後ともご指導、ご支援の程お願い致します。

大川ただお 県議選 初当選 13,302票。



県議会議員
大川忠夫 事務所

〒262-0018 花見川区畑町4 3 2-1
TEL 043-272-3888
FAX 043-272-3889
<http://www.ookawatadao.com>
E-mail: ookawajimusyo@car.ocn.ne.jp

昭和34年(1959年)2月23日生まれ。

昭和 57 年	城西大学卒業
昭和 57 年	ピーアンドビー株式会社
平成 6 年	千葉市議会議員 黒田ゆう事務所
平成 7 年	千葉県議会議員 黒田ゆう 秘書
平成 21 年	衆議院議員 黒田ゆう 秘書